※令和４年度以降入学生用

学校番号	２２０１

令和５年度　商業科

教科	商業	科目	(学)暮らしに役立つ商業計算	単位数	２	年次	２～３
使用教科書	なし						
副教材等	全商ビジネス計算実務検定演習２・３級　新検定対応（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講座開始当初は電卓やタブレットの基礎練習において、反復練習を行いタッチメソッドの習得に努める。その後、授業プリントを使って様々な商業計算を講義形式・実習形式で授業をすすめます。
・毎回の授業初めに習熟度に応じた計算プリントで、技術の向上を目指します。
・定期考査ごとに計算プリントと授業プリントを回収し、普段の授業時において主体的に取り組んでいるかどうかを評価します。
・ビジネス実務計算検定３級と２級の難易度の内容を学習します。

２　学習の到達目標

① 計算の基礎である加算と減算さらには乗除算について、電卓やタブレットを使って基礎的・基本的な知識と技術を身につけるようにする。
② 商品売買に関する計算を通じ、原価・定価・売価・割り増し・割引きなどの考え方を理解し、ビジネスの意義や役割について対応できる力を養う。
③ 単利・複利の利息計算をはじめ、年金の計算や証券投資に関する計算など暮らしに役立つ商業計算を学習し、ビジネスの諸活動を主体的・合理的かつ倫理観をもって取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	電卓やタブレットの全てのキー機能やそれぞれの道具の便利な計算方法を理解し技術を身につけるようにする。	実社会の状況に応じて各種の計算ができるようにする。消費生活の様々な場面に役立つ商業計算に関する基礎的な判断をできるようにする。	電卓の便利な機能に関心を示し、それを実際の場面で効率的に使えるように工夫する。より速く、正確に全ての指を使ってタッチメソッドでキーを叩き、電卓特有の機能を使いこなせるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期・後期	第1部	・電卓の基本的な機能と使い方 ・電卓での加減乗除と混合算	a: キーの機能を理解したうえで計算の仕方を理解し、正しく計算できるか。GT キーを使って合計を出せるか。構成比率を計算できるか。 b:計算がどのような場面で使われるかを考えられるか。 c: 電卓のキーの機能に関心を持ち、それを積極的に使い、全ての指を使ってキーを叩けるようにしようとしているか。	定期考査 計算プリント	定期考査 自主教材プリント	自主教材プリント 計算プリント
	第2部	・電卓の様々な機能の使い方 ・割合の計算 ・度量衡と外国貨幣の計算	a:割合計算が全ての計算の基本であることが理解できるか。電卓の機能、特にメモリー機能・定数計算の機能を使いこなせるか。 b:旅行やビジネスで海外へ出た時にどういう計算をすればよいか判断できるか。 c: 割合計算が他の計算の基本となっていることを認識して計算しようとしているか。外国通貨や日本と外国の度量衡の違いに関心を持ち、計算しようとしているか。	定期考査 計算プリント	定期考査 自主教材プリント	自主教材プリント 計算プリント
	第3部	・数量と対価の計算 ・売買損益の計算 ・単利の計算	a: 利益または損失がどのような経過で計算されたか、利息の計算の仕組みが理解できたか。日数計算ができるか。%キーを使用し、電卓の機能を用いて効率的に計算ができるか。 b: 実際の商品の値段や売れ行きをみてどれだけの利益が生まれているかを想像できるか。 c: 商品の値段がどのようにつけられているか関心を持ち、利益はどうやって確保するかを考えようとしているか。	定期考査 計算プリント	定期考査 自主教材プリント	自主教材プリント 計算プリント
	第4部	・割引料の計算 ・手数料の計算 ・複利終価･利息計算 ・複利現価の計算	a: 利息の計算と割引料の計算の違いが理解できるか。単利と複利でどれだけの利息の差があるかを理解することができるか。 b: 金利の違いによって利息がどのように違ってくるのか、将来のローンを組む時のことを考えられるか。 c: 簿記で学習した手形の割引料がどのように計算されているを再確認できるか。利息の増え方が単利と複利でどう違うかを考えようとしているか。	定期考査 計算プリント	定期考査 自主教材プリント	自主教材プリント 計算プリント
	第5部	・利息計算の逆算 ・債券の利回り ・債券の売買 ・複雑な売買損益計算	a: 公社債投資や株式投資に関心を持ち、将来の利殖の基礎を身につけられるか。メモリー機能を使って債権の売買や投資の計算ができるか。 b:投資に対する基礎的なことを学習し、将来のファイナンシャルプランを考えられるか。 c: 公社債投資や株式投資の内容を知り、利回りの良し悪しの判断など、将来の投資について自分のこととして考えようとしているか。	定期考査 計算プリント	定期考査 自主教材プリント	自主教材プリント 計算プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度